

定 ステージ 2 着のワーク

1 春

解答 p.20

/100

1 ヴィヴァルディと「春」について、正しいものに○、正しくないものに×を書きなさい。

2点×7 (14点)

- (1) ヴィヴァルディはドイツで活躍した。()
- (2) ヴィヴァルディと同じ時代に、バッハとヘンデルが活躍した。()
- (3) ヴィヴァルディは生徒たちのために数多くの交響曲を書いた。()
- (4) 「春」は「四季」という曲の第2曲である。()
- (5) 「春」の演奏では、独奏ヴァイオリンが全体をリードする。()
- (6) 「春」は独奏の部分と合奏の部分が交互に現れる、リトルネロ形式で書かれている。()
- (7) この曲は全部で3楽章からなっている。()

2 次の楽譜1～3について、あとの問いに答えなさい。

5点×4 (20点)

楽譜1  楽譜2  Allegro

楽譜3 

- (1) 楽譜1～3にふさわしい詩をア～ウから選びなさい。
楽譜1 () 楽譜2 () 楽譜3 ()
- ア そよ風が吹き、泉はやさしくさやきながら流れていく。
- イ 春が陽気にやってきた。 ウ 小鳥は楽しい歌で、春にあいさつする。
- (2) 楽譜1～3を曲の順番に並べなさい。(→)

3 次の問いに答えなさい。
1 「黒雲が空を覆い、稲妻と雷鳴は春の訪れを告げる。」という詩の内容を表す音楽は楽譜1、2のどちらですか。





6点×3 (18点)

楽譜1  楽譜2 

- (2) AとBが表す内容をア～ウから選びなさい。
ア 稲妻 イ 小鳥の歌 ウ 雷鳴
- A () B ()

3点×6 (18点)

4 「春」の演奏に使う楽器について、次の問いに答えなさい。

分類	弦楽器			鍵盤楽器
	①	②	③	
名前	(A)	コントラバス	(B)	(C)
				
	(A)	(B)	(C)	(C)

- (1) A～Cに入る楽器の名前を答えなさい。
A () B () C ()
- (2) Cの楽器の役割を答えなさい。()
- (3) この曲で独奏楽器として演奏する楽器を、A～Cから選びなさい。()
- (4) ①～④の弦楽器を音域の高い順に番号で答えなさい。(→)

5



「春」について、次の問いに答えなさい。

3点×10 (30点)

- (1) 作曲家を答えなさい。()
- (2) 作曲家の活躍した時代を答えなさい。()
- (3) 作曲家の肖像画をア～エから選びなさい。(→)

ア  イ  ウ  エ 

- (4) 作曲家と同じ時代に活躍した作曲家を、(3)のア～エから選びなさい。()
- (5) ()にあてはまる言葉を答えなさい。
「春」は、「(A)と創意の試み」第1集「(B)」の第1曲である。
A () B ()
- (6) 「風がやむと、小鳥は再び楽しそうに歌い出す。」という詩を表す音楽はア、イのどちらですか。()

ア  イ 

- (7) ()にあてはまる言葉を書きなさい。
・「春」は独奏と(A)が交互に現れる、リトルネロ形式で書かれている。
・作曲家は(B)奏者としても活躍した。彼の作曲した数多くの協奏曲は、同世代の作曲家たちに大きな影響を与えたことから、彼は(C)と呼ばれている。
A () B () C ()

4 箏曲「六段の調」

1 この曲と箏について、正しいものに○、正しくないものに×を書きなさい。3点×6 (18点)

- (1) 箏は右手だけで演奏する。 ()
- (2) それぞれの段は、同じ拍数できている。 ()
- (3) この曲のような器楽曲を段物と呼ぶ。 ()
- (4) 全部で6つの段から構成されている。 ()
- (5) 糸の音の高さを調節するものを柱と呼ぶ。 ()
- (6) 箏の胴体は杉の木から作られている。 ()

箏の仲間には現在でも雅楽で使われているよ。



3点×8 (24点)

2 箏と「六段の調」について、次の問いに答えなさい。



- (1) 次の文の()の中の言葉で正しいものをア、イから選びなさい。
 - ①山田流で使う爪は(ア)丸爪 (イ)角爪)である。 ()
 - ②生田流で使う爪は(ア)丸爪 (イ)角爪)である。 ()
 - ③山田流では箏に対して(ア)正面 (イ)斜め左向き)に座る。 ()
 - ④生田流では箏に対して(ア)正面 (イ)斜め左向き)に座る。 ()
 - ⑤糸の数は通常(ア)10本 (イ)13本)である。 ()
 - ⑥この曲の調子は(ア)平調子 (イ)曇井調子)である。 ()
- (2) 次の文の(A, B)にあてはまる言葉をア～エから選びなさい。

「六段の調」は、初段は(A)始まり、徐々に速度が増していき、六段目では再び緩やかに終わる。このような日本の伝統芸能に特徴的な概念を(B)という。

- ア 速く (イ) 三曲合奏 (ウ) ゆっくり (エ) 序破急
- A ()
- B ()

4点×2 (8点)

3 次の問いに答えなさい。

- (1) 引き色の奏法は、右のアとイのどちらにあてはまりますか。記号で答えなさい。
 - ア  ()
 - イ  ()
- (2) 後押し奏法は、右のアとイのどちらにあてはまりますか。記号で答えなさい。
 - ()
 - ()

4 次の曲名と人名の読み方を書きなさい。4点×2 (8点)

- (1) 六段の調 ()
- (2) 八橋検校 ()

5 次の文について、あとの問いに答えなさい。

箏は(A)時代に八橋^{やっ橋}a 検校などの名人が現れたことで盛んになり、その後も生田流と(B)が二大流派として名を成し、現在も継承されている。「六段の調」は6つの部分からなる箏曲で、このような楽曲は(C)と呼ばれている。この曲の調弦は、一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・斗・為・(D)の糸を平調子に合わせる。

- (1) 文中のA～Cにあてはまる言葉を、それぞれ書きなさい。
 - A () B () C ()
- (2) 下線部aの読み方をひらがな5字で書きなさい。 ()
- (3) 下線部aの意味をア～ウから選びなさい。
 - ア 音楽家の待遇を改善するために設けられた職位のこと
 - イ 音楽の教習所での最高監督者の職位のこと
 - ウ 目の不自由な音楽家などの組織の最高の職位のこと
- (4) Dにあてはまる糸の名前を答えなさい。 ()

3点×6 (18点)

6 次の問いに答えなさい。

- (1) 箏の説明について、正しくないものをア～ウから1つ選びなさい。
 - ア 通常、糸の数は13本である。 ()
 - イ 右手の親指と薬指に爪をはめて演奏する。 ()
 - ウ 胴体は桐の木で作られている。 ()
- (2) 箏を演奏するときの姿勢について、正しくないものをア～ウから1つ選びなさい。
 - ア 日本の伝統ある芸能の1つなので、礼儀を大切に演奏する。 ()
 - イ 左手はきちんと膝の上に置いておく。 ()
 - ウ よい音を出すためにも、よい姿勢で演奏することを心がける。 ()
- (3) この曲が「六段の調」と呼ばれる理由を、ア～ウから選びなさい。
 - ア 6本の糸のみを使って演奏するから ()
 - イ 6つの部分できているから ()
 - ウ 6人の奏者で演奏するから ()
- (4) 箏の楽器の分類で正しいものをア～ウから選びなさい。
 - ア 弦楽器 (イ) 管楽器 (ウ) 打楽器 ()
- (5) 箏が日本に伝えられた時代を答えなさい。 ()
- (6) 箏を日本に伝えた国を現在の国名で書きなさい。 ()



箏は千年以上前から日本で演奏されているんだね。

2 魔王 - Erlikönig -

p.84・85 ステージ1

教科書の要点

- 下の表
- | | | | |
|-----|------|-------|--------------|
| 作詞: | ゲーテ | 作曲: | シューベルト |
| 時代: | ロマン派 | 曲の種類: | リート |
| | | | 演奏形態: 独唱とピアノ |
- ①オーストリア ②31 ③リート
 - ④ピアノ ⑤ドイツ ⑥小説
 - ①18 ②ゲーテ ③子 ④1 ⑤馬
 - ⑥魔王
 - ①ピアノ ②3連符 ③走る様子
 - ④不気味さ
 - ①魔王 ②父 ③語り手 ④子

一問一答で要点チェック

- ①オーストリア ②イ ③リート ④ゲーテ
- ⑤語り手、父、子、魔王 ⑥最初と最後

解説

- フランツ・シューベルト(F.P.シューベルト)はロマン派の初期に活躍したウィーンの作曲家。ベートーヴェンやショパンとも活動の時期が重なっている。31年の短い生涯で、600曲以上のリートをはじめ、交響曲、室内楽曲、ピアノ曲などに優れた作品を残した。
ゲーテ(J.W.v.ゲーテ)は、小説「若きウェルテルの悩み」や戯曲「ファウスト」などの名作を残したドイツの文豪である。
- 「魔王」の詩を読んだシューベルトは創作意欲をかき立てられ、一気にこの曲を作曲したといわれている。**【注意】**4人の登場人物による劇的な内容の曲であるが、4人の歌手が登場するわけではないので間違えないようにしよう。
- 3連符の音型は曲全体に現れ、物語の内容や登場人物の気持ちによって強弱や音型が変化する。前奏では馬が嵐の中を疾走する様子が激しい和音で表現され、魔王が子を誘惑する場面は3連符の柔らかな分散和音で表される。
- 歌い方は登場人物によってははつきりと区別されているので、曲を聴きながら確認しよう。

この曲のポイント

- ソネットと曲想の関係をおさえる。
ソネットの内容や情景を、曲想とともにつかりと覚えておこう。
- 協奏曲の楽器編成や特徴を確認。
この協奏曲は、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏、通奏低音で演奏され、3楽章でまとめられていることを確認しよう。

3 雅楽「越天楽」

p.88

教科書の要点

- ①舞 ②舞楽 ③アジア ④日本
- ⑤平安
- ①唐楽 ②高麗楽
- ①箏楽 ②笙 ③羯鼓 ④鉦鼓

一問一答で要点チェック

- ①箏笛 ②琵琶(楽琵琶)

解説

- 雅楽は中国や朝鮮半島などから伝来した音楽と、日本古来の音楽をもとに発展した伝統芸能である。王朝文化を背景に宮廷や貴族の儀式などで演奏された。
- 箏楽は管の長さ約18cmのダブルリードの縦吹きの管楽器で、つやのある音色に特徴がある。箏は17本の竹を束ねた形をしていて、竹の根元に金属のリードが付いている。羯鼓は主に唐楽に使われ、曲が始まる合図を出すなど、指揮者の役割を担当する。

p.89 ステージ2

教科書の要点

- ①①ア ②イ ③ウ
- ①ア ②ついていない。
- (1)A電笛 B箏 C鉦鼓 D箏楽 E太鼓 F笙 G琵琶 H羯鼓 (2)吹物 A, D, F 打物 C, E, H 弾物 B, G
- ①F ②H ③B ④D

解説

- 「越天楽」は唐から伝来して日本で改作された管絃の音楽である。ア〜ウの中で、外来の雅楽はアの舞楽・管絃のみ。
- 雅楽の楽器の分類と名前を覚えておこう。

この曲のポイント

- 雅楽の種類をおさえる。
外来のもの、日本古来のもの、日本で作られたものの起源と演奏形態をまとめよう。舞楽と管絃の違いにも注意。
- 雅楽の楽器とその役割をおさえる。
それぞれ楽器の名称と役割を理解しよう。

2 ステージ2

p.86・87

教科書の要点

- (1)X (2)X (3)O (4)X (5)O (6)X
- (1)楽譜1 イ 楽譜2 ア (2)読み方 ピアニッシモ 意味 とても弱く
- (1)エ (2)イ (3)ア (4)ウ
- (1)2→4→3→1 (2)ウ
- (1)18歳 (2)ドイツ (3)イ (4)イ、エ

解説

- (1)1人の歌手が、ピアノ伴奏で4人の登場人物を歌い分ける。
(2)子の声の高さは恐怖が増すとともに高くなる。
(4)「魔王」をはじめとするゲーテの詩に曲を書いた作曲家は多い。ゲーテの友人だったレーヴェの作曲した「魔王」もよく知られている。
(6)魔王は後半で本性を表すとともに、恐ろしい声で歌う。
- ピアノ伴奏が歌と一体となって表現する、物語の内容や登場人物の気持ちを感じ取ろう。楽譜2は、魔王が本性とは対照的に見せる、甘く優しい姿と声を、ピアノ伴奏が弱く柔らかな3連符になぞらえて表現している。**ppp**より弱い。物語の内容(ピアノピアノッシモ)で、**pp**より強い。物語の内容と一体に変化するピアノ伴奏の強弱や音型に注意して鑑賞しよう。
- それぞれの登場人物の音域や歌い方も確認しよう。低音域でさすように歌うのは父、高音域でおびえたように歌うのは子、語り手は高音域で比較的幅広い音域で歌う。
- 「野ばら」は「魔王」と同じゲーテの詩による歌曲。シューベルトは他にも、ピアノ曲「さすらい人幻想曲」やピアノソナタ、室内楽曲、「悲劇的」未完成「ザ・グレート」をはじめとする交響曲などを残した。

この曲のポイント

- 作詞者、作曲者についておさえる。
活躍した時代と代表作をまとめよう。
- 演奏形態と物語の内容を確認。
1人の歌手が4人の登場人物を歌い分けることや、物語の内容、それぞれの人物の歌い方を確認しよう。

